

## 事例ベースモデリング調査の利活用に関する研究

調査研究年度：2015年度・2016年度

浸水対策の推進

固有研究

### 【研究の目的と成果】

これまで、事例ベースモデリング技術を用いた雨天時浸入水発生領域の絞込みに関する調査研究を行ってきたが、その結果の精度検証は十分行われてこなかった。

そこで、本研究では、事例ベースモデリング技術の解析結果について、同地域で別途行われている流量調査と比較することにより精度検証を行うとともに、事例ベースモデリング技術と流量調査を組み合わせた雨天時浸入水発生領域の効率的な絞込み方法の検討を行う。

### 【検討内容・結果の概要】

#### ①事例ベースモデリング調査結果と流量調査

##### 結果の比較による精度検証

- ◆流量調査結果に基づく雨天時浸入水量を事例ベースモデリング調査結果(図-1)による雨天時浸入水の影響ランクと関連付ける。
- ◆事例ベースモデリング調査による雨天時浸入水の影響の強い系統と弱い系統を比較し、事例ベースモデリング調査結果の妥当性を評価する。

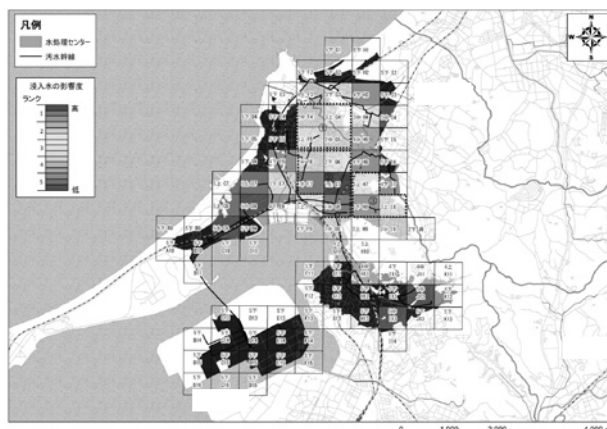


図-1 事例ベースモデリング技術を用いた雨天時浸入水解析マップ

#### ②事例ベースモデリング調査の新たな活用法の検討

- ◆幹線系統(中ブロック)の流量調査結果を、事例ベースモデリング調査結果の雨天時浸入水の影響度合いから枝線系統(小ブロック)への絞り込み方法の検討を行う。

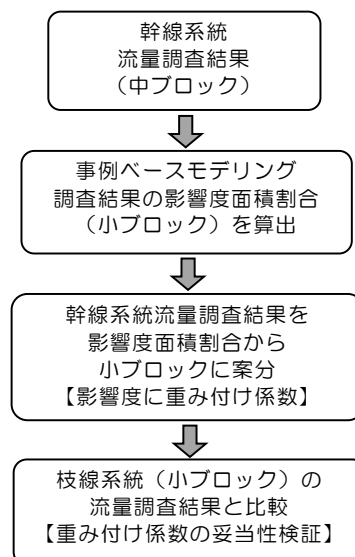
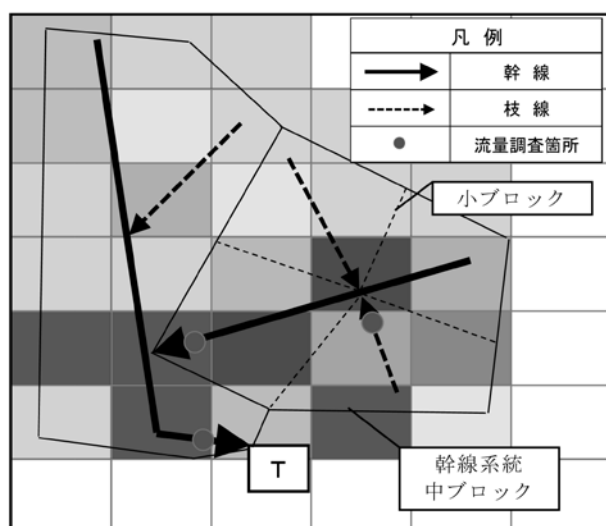


図-2 新たな活用法のイメージ

### 【特徴】

- ◆事例ベースモデリング技術と流量調査を組合せた、小ブロックへの効率的な絞込み方法を検討
- ◆現在、データ解析中であり、2016年度結果を報告する。

問い合わせ先：研究第二部 下村 常雄，伊藤 雄二，中村 誠【03-5228-6598】

キーワード

雨天時浸入水，浸入水対策，浸入水絞込み手法，事例ベースモデリング技術